



編集発行所 千990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64 山形県立山形西高等学校 電話 023-641-3504



退任の挨拶 感謝と御礼と出会いの幸せと

前会長 大宮 文子

この度は同窓会々々長を退任することになりました。年齢上のことと健康上のごことで会長として... 発展して下さるでしょう。私は平成五年から同十年迄の丸五年の間... 文雄先生、前校長の安食和彦先生... 創立百周年の記念行事について同窓会の在り方等に多くのヒントをいただきお陰様で満足の行く行事に参画出来ました。心から御礼申し上げます。



会長をお引き受けて

新会長 中原 えい子

平成十年母校の百周年を迎え、大宮文子会長のもと同窓生一丸となつて後援し百周年の行事が盛大に惹無く行われ、これも嬰鳴同窓会の強い絆の現われと存じます。その後大宮会長は御体の不調を訴えられ退任なさる事を伺い我々副会長二人も当然やめるものと思つておりました。しかし残る様に言われ重ねて思いもかけぬ会長の大役を委される事になりました。歴史と伝統に輝く嬰鳴同窓会会長にふさわしい立派な大宮会長のあとに、浅学非才の私の様な者が引き受けるのは本当に身のちぢむ



ご挨拶

学校長 奥山 武

嬰鳴同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から本校教育の充実発展のために、多大なご協力ご支援を賜わり心から感謝申し上げます。とりわけ、昨年の創立百周年記念事業にあたりましては大変お世話になり、有り難うございました。県下の各門校に相応しい内容であった、と各方面から喜ばれております。

西高二世紀へ向けて

新副会長 鈴木 公子 (昭32年卒)

同窓会員の皆様お元気で過ごしのことと思います。昨年の厳粛な中にも和やかな創立百周年記念式典、充実した百年史の発刊。内容の濃いOG文化展等々嬰鳴の歴史と伝統に裏打ちされた記念行事であったと感激致しました。これも学校御当局、後援会、同窓会の役員、会員の方々のご協力ご努力の結果と感激致しておりました。そんな矢先、私に副会長をというお話をいただきました。予期せぬ大役はとてども即座に固辞致しましたが、何ヶ月か悩んだ末これでは嬰鳴精神に反するのではとお引受けすることに致しました。宜しくお願ひ申し上げます。

新たな世紀にむけて

副会長 堤 佳子 (昭35年卒)

百周年記念の諸行事も無事打ち上げ、ホッとしたのも束の間、諸般の事情から副会長職は暫時続投となり、平成六年四月八日の入学式をスタートに、以来六年目を迎えました。お二方も既に鬼籍に入られました。高橋政様会長在任中、渡辺てる先生編集長時代の嬰鳴同窓会報発行のお手伝いをして、

創立百周年記念史 『山形西高等学校百年史』の販売について 購入は次の方法があります。 クラス幹事に申し込む方法 クラス幹事が希望者をまとめて学校に申し込む。 個人で申し込む方法 氏名、住所、電話番号を、明記の上、葉書で直接申し込む。

右の方法では、申し込みがあれば折り返し郵便振り込み用紙を送ります。記念史代金(六千円)を振り込んで下さい。学校に届いた段階で業者を通して記念史を送ります。 学校の近くにお住まいの方は、直接事務室の窓口においでいただければ購入できます。 いずれの方法でも、手数料、送料とも同窓会で負担します。 『近代化への道を歩み続け世界の経済大国に伍しながら、一つの屈折点を迎えた日本が、歪みと克服と人の心について問われつつ、新しい世紀を迎えようとしているこの時、山形西高等学校百年史』が完成の運びとなりました。それは本校百年の歴史であると同時に日本の女子中等教育史であり、山形県の高専女子校と女子高等学校の歴史に焦点を当てた二十世紀のあゆみでもあります。真理を愛し正義を貫き、学び求めて輝く乙女たちとその百年が、つい先頃のこのように生き生きと記述されているのは、本校をこよなく愛し生徒をいとおしみ続けおられる日野頭正氏、大塚浩介氏、鈴木實氏、三先生の執筆によるからであります。 (編集後記より抜粋)



創立100周年 平成10年度嚶鳴同窓会総会

平成十年度の嚶鳴同窓会総会は十一月八日(日)メトロポリタン山形を会場に、百周年を飾るにふさわしく盛況となりました。

洗練された4F受付ロビーは、総硝子張りの窓から差し込む秋の光の中、華やいだ声で溢れかえっていました。この日を指折り数えて待っていたというお言葉を頂戴するにつけ、当番学年一同、喜びと同時に身の引き締まる思いがいたしました。今年度は、祝賀の気持ちを含めて、手作りのコサージュで来賓の方々をお迎えいたしました。

山形県の演劇活動の発展に御尽力なさっており、お人柄そのままのユーモラスなお話に会場には笑いのはじけておりました。続いて中原えい子副会長より、米寿四で中原えい子副会長より、米寿四を片手に、「樹木の蔭で」、「赤とんぼ」、「枯葉」、「褐色の髪を飾るだろう」と、皆様の御座をぬうようの呼び上げが行われ、会場からは祝福の拍手が送られました。米寿より松尾幸子様、喜寿より鈴木操様が代表として挨拶をして下さいました。お二方のお話は、人生の示唆に富んだもので、特に、「西高生としての矜持を持って生きる」というくだりは深く印象に残っていました。

口より大輪の薔薇を想わせるあでやかさで登場。黒のベルベットのドレスが陶器の様な肌の白さを一層際立たせ、華やかさを醸し出しておりました。シャンパングラスを片手に、「樹木の蔭で」、「赤とんぼ」、「枯葉」、「褐色の髪を飾るだろう」と、皆様の御座をぬうようの呼びながら歌う姿に、思わず溜息が・・・この心憎い演出は二戸さん自らの御発案です。透過した歌声が響き渡る中、シャンパングラスのピラミッドがライティングされ、次の乾杯への余韻を残しながらフィナーレへ。

興奮さめやらぬ内に、元校長であられる大場文夫先生の乾杯で祝宴が始まりました。料理と会話を楽しみながら和やかに会は進んでまいりました。

午後一時三十分、校歌斉唱の時間となりました。私達も先輩方に倣い合唱隊を編成して、新旧校歌の練習に励んでまいりました。皆様の歌声は力強く、一人一人がゆるぎない嚶鳴精神を感じとりながら高らかに歌いあげておられた様子が印象に残っています。名残惜しい雰囲気の中、斎藤明美さんより、清々しい閉会の挨拶がなされました。



私達当番学年(S53、54卒)は創立百周年の総会を担当させていただきますという事で、大層な重責と名譽を感じながら、二年の歳月をかけて準備を取り行つてまいりました。「華麗に」をモットーに、しかもオリジナリティを出そうとボスター(横倉佳奈子)、ビデオ(佐藤王子)、コサージュ(高梨典子)と当番学年で製作をいたしました。又、事務等でもエキスパートに恵まれた、各人の能力を充分に活用できたのではと自負しております。しかし、それは、同窓会役員の皆様、栗野先生をはじめ諸先生方の御理解と協力なくしては成し得なかつた事です。ここに深く感謝申し上げます。母校が百周年を節目とし、益々の発展を遂げ新しい歴史が刻まれていく事を祈念いたしまして、総会の御報告とさせていただきます。(昭和五十三年卒)山崎ひろみ

司会の片桐典子さんの着席の合図により、定刻十時開会。大宮文子会長より創立百周年記念式典、OG文化展の盛況ぶりが御報告され、安食和彦校長(奥原秀穂教頭)の代読の挨拶へと続き、尾形由夫後援会長より、祝電と花束を頂戴し、会に華を添えていただきました。

議長に堤佳子副会長を選任し例年通り、恙無く議事進行がなされ、スムーズに祝賀式典へと進んでまいりました。

恩師を代表して、阿部秀而先生より御挨拶を賜りました。先生

おられます。喜寿の方々には総会後山温泉にてクラス会を催されるとお聞きして、その行動力・結束力にはひたすら感心するばかりでございます。ほどなくして母校百年の歴史が十分の作品に凝縮された記念ビデオの上映が始まりました。制服の変遷も興味深く、青春の懐古も思わぬ胸が熱くなられた方も多かったのではないのでしょうか。

いよいよお待ちかねのアトラクション。当番学年でもある、二戸敦子さんのソプラノ独唱です。ピアノ伴奏は渡辺真理さん。会場入

天の川を渡るおりひめとひこぼしの様に

—平成十一年度嚶鳴同窓会東京支部総会—

平成十一年度の嚶鳴同窓会東京支部総会は七月十一日(日)東京プリンスホテルで開催されました。梅雨の中八十代の先輩を筆頭に三十代まで総勢二百八十名が集合しました。

工藤厚さんの開会の言葉より始まり、校歌斉唱、黙禱、神尾ひささんの支部長挨拶と続きました。今年の四月に赴任された奥山校長先生より、現在の西高の様子を伺い変化の大きさに驚かされました。家庭科担当の白田先生は当時の様子を感慨深げに語ってくださいました。私の恩師でもある国語担当の大場先生は朗々と話され、當時を思い出しました。中原様は今年より会長の大役を、堤様、鈴木様は、副会長を引き受けられました。大宮先生は東京支部長として十年、本部会長として五年の長きに渡り同窓会のために創立百周年行事の大役を果たされての退任です。栗野先生は、西高教師のかたわら同窓会事務局局長を務めていらつしやいます。

晴天に恵まれた青葉の候、平成十一年六月六日、寒河江ホテル・シンホニーにおいて見出しの支部総会が開催されました。以前には、西村山一市四町合同の同窓会があり、二年ごとに各地区廻りの総会があったのが、事情により散会の状態になっていました。時が過ぎ、寒河江市在住者から、この寂しさに耐えられず、親睦を主とした会を結成したいとの声が高まり、古澤初枝さんと旧役員が幾度となく会合をし、同窓生の意見をも聞き、発足の運びとなりました。名称は、

嚶鳴同窓会寒河江支部発会式並びに親睦会

—平成十一年度嚶鳴同窓会寒河江支部総会—

「嚶鳴同窓会寒河江支部」とし、前記の発会式を迎えたのです。当日は、母校の中原会長、栗野先生からの来賓挨拶をいただき、司会からは、身を引きしめる思いにならざるを得ませんでした。この哀しい記録は、「山形西高等学校百年史」に十五頁にわたって記されています。西高になつてからの楽しく平和で活気ある本来の学園のスピリットにと、時の流れに感入。有志のクラスも楽しく美しく、最後には全員で四季の歌を唱って、名残惜しい懇親会を終りました。最後に、このように身近な集いである「嚶鳴同窓会寒河江支部」を、歴史ある嚶鳴の誇りを胸にして、生命ある限り、親睦を軸にして続けることを誓いあいました。(昭和二十年卒)清野 久子

砂の仕舞に始まり、円卓の会食。久しぶりの再会に話は尽きず。四名のスピーチには涙と笑いが交錯し、なかでも、生徒動員での苦しさには、身の引きしめる思いにならざるを得ませんでした。この哀しい記録は、「山形西高等学校百年史」に十五頁にわたって記されています。西高になつてからの楽しく平和で活気ある本来の学園のスピリットにと、時の流れに感入。有志のクラスも楽しく美しく、最後には全員で四季の歌を唱って、名残惜しい懇親会を終りました。最後に、このように身近な集いである「嚶鳴同窓会寒河江支部」を、歴史ある嚶鳴の誇りを胸にして、生命ある限り、親睦を軸にして続けることを誓いあいました。(昭和二十年卒)清野 久子



ご冥福をお祈り申し上げます

- 山中 隆子 (昭9高女)
- 木村 みね (昭10女師二部)
- 菅 ゑき (昭17女師二部)
- 斎藤 雅子 (昭16女師二部)
- 田村 貞子 (昭12女師二部)
- 武田 正子 (昭32西)
- 藤山 のぶ (昭5高女)
- 武田れい子 (昭32西)
- 浜村ノブ子 (大9高女)
- 横山 薫 (昭6高女)
- 山口 きよ (昭3高女)
- 古沢 孝子 (昭4高女)
- 高山 孝 (昭5高女)
- 深瀬 正子 (昭10高女)
- 斎藤 尚子 (昭33西)
- 菅原 菊代 (大2高女)
- 小林 ふみ (昭10女師一部)
- 長岡 富美 (昭11高女)
- 伊藤 孝子 (昭33西)
- 佐藤ノブ子 (昭10女師一部)
- 多田 年子 (昭11女師二部)
- 奥田 順子 (昭31西)
- 奥山ふみよ (昭4高女)
- 中屋 妙子 (昭36西)
- 鈴木 ナヲ (大15女師一部)
- 粕谷 勝恵 (大13女師本科)
- 島津 和子 (昭31西)
- 丸子 喜代 (昭23高女)
- 角田 雪子 (大15高女)
- 川合つね子 (大15高女)
- 小島 ウメ (昭4高女)
- 榎森 ヤエ (大15高女)
- 後藤 桂子 (大15高女)
- フロレンス小林(和子)
- 横田 佳穂 (昭和21高女)
- 柴崎徳太郎 (旧職員)
- 鈴木 英一 (旧職員)
- 柴田 敬一 (旧職員)

平成11年度 総会のお知らせ

と き: 11月14日(日) 午前10:00~
と ころ: オーヌマホテル (山形市)
会 費: 5,000円



山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会総会

と き: 89年11月4日(日)午前10時~
と ころ: オーヌマホテル (山形市)



寒河江支部発会に尽力された幹部役員



同窓生からの便り



語を教えるなんて簡単だろう。と
思ったのが大間違い。「これは茶
碗です」と「これが茶碗です」は
どう違いますか?から始まって、
「絶望は「ぜつ」なのに絶対は「ぜ
つ」と、どうして小さな「つ」に
なりますか?」等々、その当時の
私では答えられない質問に、気軽
に引き受けたことを後悔したもの
だった。

山形市内のポランティア教室に
参加することになった私は、そこ
で山形県に嫁いで来ている外国人
の多いことに驚いた。また山形で
暮らす外国人は彼女達に限らず、
言葉、人間関係、異文化、偏見等
で苦労していることを知った。そ
して私は日本語教育の勉強の必要
性を感じると共に日本語そのもの
をもっと勉強したいと思ったのだ。

山形西高敷地内 遺跡の調査から

昭和60年卒 水戸 弘美

私達の学び舎、山形西高等学校
敷地は、縄文・弥生・古墳・奈
良・平安・江戸時代の人々が生活
の場として選り利用していた土地
です。馬見ヶ崎川が形成した扇状
地の先端であるこの地を、各時代
の人々がよくよく愛していたこと
が、発掘調査によって明らかにな
ってきています。

昭和五十九年夏、三学年在学中
の私は、移植ベラで掘り起こした
り、図面に記録したりと、古代の
遺跡を調査する人々を目撃しまし
た。今考えると山形西高敷地内遺
跡第三次調査との出会いでした。
大学卒業後、民間企業に就職し、
何か違うと迷っている時、緊急
発掘調査の誘いを受けました。緊
急発掘調査は、工事等で遺跡が破
壊される前に、記録で保存するこ
とを目的とします。転職し最初に
担当したのが、校舎改築に伴う山
形西高敷地内遺跡第四次調査でし
た。毎日が学ぶことばかりで、四
年ぶりの「通学」のような調査で
した。わずかながら経験を積んだ
平成四年、調査主任を初めて務め
たのが、西高創立九十周年記念事
業に係る第五次調査でした。私の
学び育つ原点は、常に西高にある
と思えてなりません。



現在は、財団法人山形県埋蔵文
化財センターに勤務しております。
東北横断道と中央道のジャンクシ
ョン建設で姿を消す遺跡に立ち、
平安時代の生活の跡を記録に残す
日々です。思い出多い場所を昔の
人々はどうのように使っていたのか、
西高を調査した時の素朴な興味か、
今日の私の仕事の出发点です。

富樫昭子さん門下の方々の
によるフラインゴで幕開け
です。原色の衣装で身を包
んだ華麗な踊りに目を見張
りました。次に邦楽に入り、祝事
の時に演奏される長唄「小鍛冶」
と「荒城の月」を荒井光子さん、
太田泉さんによる三味線の演奏、
続いて日本舞踊は山口喜代さんに
大和楽「寿」を踊っていただきま
した。休憩をはさみ嚶鳴女声合唱
団のピアノ演奏と合唱の始まりで
す。懐かしいハーモニイに酔い、
秋月の宵 音楽の女神ミュージズ
と共にの表題のままで、芳醇な
ひとときを味わいました。事務局
の前宣伝の不徹底もあり、もっと
多くの方に聴いていただきたいか
たと反省されます。

作品の展示は、百周年にちなみ
百点で押さえる事として、絵画、
工芸、彫刻、書道、写真の申込み
を受けることにしました。始めは
なかなか集まらなくてお一人二点
でもなどと考えましたが、締切
り近くには瞬間に満杯となり、
その後取り消しなどもあって百点
で落ち着きました。締切り後のお
申し込みでお断りした方にはせつ
かくなかたに申し訳なく
思っております。又、思いの他大
作の出品が多かったこともあり、
あととらになってから華道の展示
を少し減らす結果となり、すでに
作品のイメージを置いてい
らした方々には大変なご迷
惑をおかけしてしまいま
した。

華道は前期・後期に分け
ての出品で、各流派の指導
者が力作をいけ込んで下さ
いました。龍生派中村郁さ
ん、小原流湯村常子さんが
とりまとめをして下さいま
した。

文翔館話室をお借りし
てのお茶席は、稲村ハナ子
さん、佐藤順子さん、長沼
成与さんに段取りをお願い
しました。裏千家は御園棚、
表千家は扇面棚でのお点前
を連日数回催し、又、嚶鳴
百年をイメージして特別に
作って下さった主菓子の評
判も良く一般の参観者から
も大好評を得ました。

嚶鳴百年の厚さと、卒業
生一人一人が豊かに重ねた年輪を
誇示できた六日間だったと思いま
す。(米本美智子)

わがクラス会

第三回「西二の会」 仙台の緑の中で

西高第二回卒 阿部力子

五月十六日、十七日、緑したた
る一夕、伊達の名残を今にとどめ
る奥仙台、茂庭荘で「西二の会」
第三回の集いがもたれました。
もう耳順の年というのに皆さん
相変わらず若々しい声で、ロビーで
すでに話は盛りあがったのですが、



創立100周年記念 嚶鳴OG文化祭 大盛況



嚶鳴百年の厚さと、卒業
生一人一人が豊かに重ねた年輪を
誇示できた六日間だったと思いま
す。(米本美智子)

作品の展示は、百周年にちなみ
百点で押さえる事として、絵画、
工芸、彫刻、書道、写真の申込み
を受けることにしました。始めは
なかなか集まらなくてお一人二点
でもなどと考えましたが、締切
り近くには瞬間に満杯となり、
その後取り消しなどもあって百点
で落ち着きました。締切り後のお
申し込みでお断りした方にはせつ
かくなかたに申し訳なく
思っております。又、思いの他大
作の出品が多かったこともあり、
あととらになってから華道の展示
を少し減らす結果となり、すでに
作品のイメージを置いてい
らした方々には大変なご迷
惑をおかけしてしまいま
した。

華道は前期・後期に分け
ての出品で、各流派の指導
者が力作をいけ込んで下さ
いました。龍生派中村郁さ
ん、小原流湯村常子さんが
とりまとめをして下さいま
した。

文翔館話室をお借りし
てのお茶席は、稲村ハナ子
さん、佐藤順子さん、長沼
成与さんに段取りをお願い
しました。裏千家は御園棚、
表千家は扇面棚でのお点前
を連日数回催し、又、嚶鳴
百年をイメージして特別に
作って下さった主菓子の評
判も良く一般の参観者から
も大好評を得ました。

嚶鳴百年の厚さと、卒業
生一人一人が豊かに重ねた年輪を
誇示できた六日間だったと思いま
す。(米本美智子)

嚶鳴百年の厚さと、卒業
生一人一人が豊かに重ねた年輪を
誇示できた六日間だったと思いま
す。(米本美智子)

創立百周年記念式典 生徒代表あいさつ

金木庫の腹のたる香りが流れ、周囲の山並みが日増しに豊かな色合
いに染まる秋の今日、私達西高生一同は、創立百周年並びに
体育館・特別教室竣工記念式典を迎えることができました。
西高ゆかりの大勢の皆様方と、この木の香りのたどるよう新装となつた
体育館で一堂に会し、西高誕生百年の記念日をお祝いできますことを、
心からうれしく、また晴れがましい気持ちで一杯です。
そしてこの節目の年に遭遇し、在学できた私達八百四十二名の生徒
としての大きな幸運を素直に喜ぶと共に大きな誇りとするものであり
ます。

百年前の一八九八年、明治三十一年とはどんな時代だったものでし
ょうか。平成の私達には想像すらつかない遠い過去に思えます。
しかし、明治・大正・昭和・平成の四代の長きに渡り、家族の、地域
の期待を背負いひたむきな向学心に燃えて、この学びやに集まったこ
と、高邁な理想をかかげ、真摯に勉学に打ち込み、部活動に汗を流し、
夢の実現に情熱をかたむけたであろうことは今の私達にも容易に思い
描くことのできるものです。それら二万二千余名の諸先輩が営々と築
き上げた栄光の歴史と伝統の重みを感じる時、深い感慨を覚えずには
いられません。

人間が伝統をつくり、伝統が人間をつくる、といいますが、私
たちが来る二十一世紀に、そして西高の二世紀への旅立ちにあたって引
き継ぐべき良き伝統として、「嚶鳴」の精神、「校歌」、「制服」の三つ
を挙げたいと思います。いずれも時代を越えて西高のシンボルとなり、
私達の心のよりどころとなってきた大切なものだと思うからでありま
す。「嚶鳴」とは中国の古典「詩経」小雅編を典拠とし、朋友、師弟が
相和し共に仲むつまじく切磋琢磨する意味とされ、身近な言葉として
日々実践され継承されて参りました。

入学式で初めて耳にした「校歌」の歌声の美しさも良き伝統と申せ
ましょう。先輩の自信にあふれた歌声に続きたいという一人ひとりの
思いは生き続け受け継がれております。そして「制服」は県内各高校
で新しい時代にふさわしいスマートな制服を着ることに限りなく愛着を
私達西高生は先輩方と同じように心掛けております。まさに「嚶鳴」
の精神、「校歌」、「制服」が西高をつくり、育ててきたと確信するの
であります。「嚶鳴」の伝統未だ衰えず、今こそ私達は「嚶鳴」の精神を
益々発揚してその実を挙げなければなりません。

さて、念願の新しい体育館・音楽教室等の改築が県当局や市当局そして
地域の皆様温かい協力ご配慮で見事完成を見ました。私達西高生
は去る八月末の嚶鳴祭においてフィナーレ会場として盛大な使い初め
をし、今この体育館の壇上の正面に飾られております百周年記念のシ
ンボルマークのはり絵を全校生の手で製作したのです。また色とりど
りの風船に自分の夢や希望を書いた短冊を結びつけ雨上がりの夕方の
大空に、西高生全員と先生方が一斉に飛ばす「飛んで、ポン」とい
う記念イベントも成功させることができました。

生徒代表 高橋 和香奈

平成10年度経常費決算

1 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

3 差引残高

総収入 総支出 差引残高
2,486,469円 - 2,138,697円 = 347,772円

平成11年度経常費予算

1 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

2 支出の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

平成10年度嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位:円)

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 前年度繰り越し金, 前年度経常費残金, 総会残金, 総会祝い, パッジ立替分, 利子, 定期預金利息, 普通預金利息.

2 支出の部

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 総会補助, 100,000.

3 差し引き残高

10,485,127 - 100,000 = 10,385,127

みなさまのお便りを
おまちしています。
昨年度第24号から、同窓会からのお便りのコーナーを設けました。お気軽に近況報告のお手紙を書いていただきたくお願い申し上げます。年一回八月のみの発行ですが、頂戴したお便りは掲載させていただきます。便箋に書いて下さっても構いませんが、五十行から六十行の間で取っていただけると助かります。卒業年度「電話番号」をご記入の上、左記までお送り下さい。
〒990-1201 山形市鉄砲町1-15-64
山形西高嚶鳴同窓会
会報「同窓生からのお便り」コーナー

編集後記
今年、新たに編集委員として松浦英子さん、酒井孝子さんを迎え、編集委員一同張り切っております。今後とも寄稿等のご協力をよろしくお願い申し上げます。
○会報編集委員
松浦 英子 中村 郁
鈴木 眞 長岡 玲子
酒井 孝子
○校内理事会報担当
鈴木 尋絵
齋藤 恵理子

平成10年度会務報告

- 平成10年 4月8日 入学式
5月8日 平成9年度同窓会会計監査
5月14日 第1回評議員会
6月21日 東京支部総会(東京プリンスホテル)
6月25日 創立記念日・校内合唱コンクール
8月17日 第2回評議員会・第1回クラス幹事会
10月22日 創立100周年記念式典・祝賀会(オーナマホテル)
11月8日 同窓会総会(メトロポリタン山形)
平成11年 2月18日 第3回評議員会
2月28日 同窓会入会式
3月1日 卒業式

平成10年度 維持会費納入状況

1. 平成10年度(1998年4月~1999年3月)に納入されたもの

Table showing membership fee payment status for West High School (西高) and Female High School (高女) classes, listing names and amounts.

平成10年度(1998年度)分

Table showing membership fee payment status for Female High School (高女) and South High School (南高) classes, listing names and amounts.

<1998年4月~1999年3月納入分 延255クラス分 751,000円>

2. 平成9年以前に平成10年度分が納入されているクラス(納入者氏名省略)

Table showing membership fee payment status for Female High School (高女) and South High School (南高) classes from previous years.

嚶鳴同窓会評議員

Table listing the names and positions of the alumni association council members (評議員).